

凧通信～あおぞら食堂(炊出し・復興支援)活動報告

第7号 発行 平成23年11月14日 株式会社 凧スピリッツ メディア部編集

◆11月報告書……………ラーメン凧 ボランティア担当 椎葉三江
11月度のあおぞら食堂活動報告をさせていただきます。

ここ南三陸町では今年の異常気象を物語るかのように、昼間は薄手のシャツでもいい日も多く、朝夕は水溜りに氷が張っているという奇妙な天候で、服装を選ぶのも難しく思う日々を送っております。



(市場用の棚に屋根付け作業中。松島様)



(ホタテを差し入れしてくださった三浦様)

しかしながら、寒さを増してきた季節とは裏腹に、地元の方々の海への想いは以前にも増して熱を帯びてきているようです。

(ホタテの稚貝つけの様子)





(養殖が行われる漁場)



(鮭漁から帰ってきたところ)

漁に関しては秋刀魚や鮭など、すでに行われていましたが、養殖のほうでもワカメをはじめホタテなども始まり、忙しいながらも生き生きとした姿を見せて頂いております。



(ホタテの稚貝をロープにつける作業)



(ワカメの種はさみの作業の様子)



(ワカメの養殖の話し合いの様子)



(ワカメの養殖に使われるロープ)

ワカメは太いロープに種をはさんで海に沈める作業、ホタテは子どもの貝を北海道から仕入れて、それに穴を開け、ロープに繋ぎ海に沈める作業。それぞれを仲間の方々と協力し合いながら真剣に取り組む姿は、まさに南三陸町の復興のために本当に必要なものが見えてきます。



(未来道プロジェクトで作られている道路)



(高台への集団移転の説明会の様子)

旅館業の方々に関しても今までのような作業員の方の利用に加え、観光での利用も少しずつ増えてきました。以前ほどは少なくとも活気も戻ってきて、経営者の方々もやる気を取り戻せてきているように感じます。

ただ、やる気はあっても現実的な問題がどうしても出てきているという事実もあります。

それにつきましては後ほど述べさせていただきます。

さて、11月に入り朝夕の冷え込みは厳しいものとなってきましたが最近、夕方は高校生などで賑わう日も多くなってまいりました。友達と集まってテスト勉強をしたり、おしゃべりをしたり楽しそうな姿は大変ほほえましいものです。ラーメンも「脂多め」や「味濃いめ」の他に、トッピングの追加でいろいろと楽しまれていらっしゃるようです。



(あおぞら食堂のテントでお食事をされるお母さん達) (久保田様より頂いた「鉄飯腕」の餃子)
中でも、ねぎ増しは人気で、時には切り足すこともあります。常連様も増え、楽しくやり取りさせて頂いております。

また、トレーラーハウスでお世話になっております久保田様より、奥様のご実家である「鉄飯腕」様の餃子を二度に亘ってご提供頂きました。地元の方々に、とても喜ばれ、私どもも、大変美味しく頂きました。本当にありがとうございます。

早坂様におきましてはお忙しい中、細かにお気にかけて頂き、御自身の店舗が休みの日に奥様や従業員の方々とお食事に来て頂いたり、いつも有難うございます。



(仙台とどけ隊のイベントに参加されたバンドの方々) (打ち合わせ中、漁師さんとボランティアさん)

仙台とどけ隊のメンバーの方々におきましては南三陸町にお越しの際は顔を出して頂き、いつも楽しませて頂いております。ありがとうございます。

また、11月の大きな出来事のひとつとしては、何と言っても、私どもも販売に協力させて頂いております「[ホタテキャンドル 復興のあかり](#)」が、泊浜漁協女性部の5名のお母さん達とともに日本を代表する一大ラーメンイベント「[東京ラーメンショー2011](#)」で、参加、販売できたことです。

「頑張ろう日本」というテーマの下に、東京の駒沢公園で開催された全国の有名なラーメン店が大集結するイベントです。東北ブースの一角に、お母さん方が、東北の復興への想いや全国の皆様への感謝の想いを胸に参加されました。

慣れない人ごみの中での活動に疲れも見えましたが、参加されたお母さん方の口からは楽しかったという言葉や、きっかけを与えてくださった早坂様への感謝の言葉やご協力頂いた方への感謝の言葉などを聴くことが出来ました。大崎様をはじめ、イベントの際にご協力くださった各店舗の皆様お疲れ様でした。お買い求め頂きました皆様ご協力有難うございました。

最近ではキャンドルのみではなく地元の方の作られたシュシュなどの手芸品の委託も受け販売いたしております。少しでも作られた方の想いが伝わるよう対応させて頂きたいと思っております。11月も皆様の協力の下、活動させて頂きましたことを深くお礼申し上げます。

これからもあおぞら食堂をよろしくお願いいたします。



(あおぞら食堂でのお食事の様子)



(お店をバックにボランティアさんと漁師さん達)

さて先にも述べさせていただきましたが今回は復興に向けての現状について少しお話しさせて頂きたいと思っております。

今回はご本人に了解を頂き一例とさせて頂きました。

現在平成の森の仮設住宅で生活されていらっしゃる千葉さんは、牡蠣の養殖では南三陸町で一番の水揚げを誇っていたのですが、伊里前地区という壊滅状態の地区の方で、家や財産などはもちろん購入したばかりのフォークリフトを含めすべての機材を失い、一生懸命育ててきた牡蠣もすべて海へと消えてしまいました。

しかし、震災後は同じ悲しみを持った地元の方々のために「[すばらしい歌津を作る協議会](#)」などでも精力的に活動し、現在も地元の復興のためにと様々な活動をされています。

同時にご自身の牡蠣の養殖へ向けての準備も計画されているようですが、やはり資金不足というのは深刻なようで来春までに6000万を準備しないと難しいとのことでした。

現在は今年のみ共同で行えるというワカメの養殖に参加されているようですがその収入を入れても全く追いつかないというのが現状だそうです。

また、資材不足や品不足などによる値上がりなども切実なる問題です。

更には流されたご自宅や機材などローンの支払いのみが残ってしまったという現実。

国などからの援助もまずは自分達で支払いを済ませ、その領収書を持ってからの手続きらしく、もどかさからか目を潤ませながら語ってくださいました。

「どうにかしたい」その思いから震災後に色々とボランティアをされていた方のご協力などもあり、ホームページでの支援のお願いなどを始められたとの事でした。(詳しくはホームページをご覧ください

(<http://www.maruta-takuyo.co.jp/>) ※伊里前牡蠣復興支援結っ子基金様へのリンク



(漁師さん達の休憩所の寒さ対策作業)

これはあくまでひとつの例でしかありません。

他にも同じような思いをされている方は沢山いらっしゃいます。

震災から9ヶ月経ち、少しずつ気持ちが遠くなられていらっしゃる方も少なくはないと思います。

しかし、被災された方々の苦悩は、まだまだ続いているということをどうか忘れないで下さい。

そして、その苦悩を振り払うかのごとく頑張っている方が沢山いらっしゃいます。

どうかこれからも南三陸町の皆さんへの寄り添う支援をよろしくお願いいたします。



(あおぞら食堂でお世話になっている佐々木さんファミリー)

◆ラーメン凪グループ各店 11 月募金額

渋谷店 8,078 円、駒込店 11,059 円、西新宿店 1F 6,654 円、西新宿店 2F 10,728 円、新宿ゴールデン街店 6,202 円の合計 42,721 円です。募金累計総額は 5,952,328 円です。

- ◆ 協賛企業紹介(順不同) 株式会社アブ・アウト(らーめん山頭火)様、株式会社 アール・エー・アール『麺や七彩』様、カネジン食品株式会社様、『災害復興支援団体』仙台・とどけ隊様、社団法人日本トレーラーハウス協会様、仙台ラーメン店 五福星様、災害救援ネットワーク埼玉様、大崎裕史様 吉田範之様、株式会社カナテック様 以上。